

座標軸



小形さん

社会に貢献

70台を6カ所の救急病院へ無償提供した。
▽: 軽量・小型のため持ち運びに便利で、外出先や災害時でも吸引が必要な患者のために開発した。「当時は停電が発生したが、乾電池で動くので役に立った」と話す。

▽: 「緊急時に当社の製品が貢献できた」と話すのは、日東工器社長の小形明誠さん。昨年9月の北海道地震の際、携帯型のたん吸引器「キュータム」の開発に打ち込む。

▽: 「病院からは感謝の言葉をいただき、うれしかった」と笑顔を見せる。今後も社は社会に貢献する製品開発を胸に